														—
科目名	IATAディプロマ危険物 IATA DIPROMAT Dangerous Goods Regulations-Initial /Category 3)													
科目名(英)	I.	ATA DIP	ROM	1AT [Dangerous Go	ods	Regulations-	Initia	l /Category	3)				
単位数		7単位	立		時間数		105時間		担当者		川嶋	i 英	信	
実施年度		2022年	-度		実施時期	1	前期		担当者実務網	圣験				
対象学科・学年	٦	ロアポート	-科	2年	F					·				
授業概要	耳 ク	Qり扱いる ブ、ラベリ	を学習 ング	習する	る。更に具体的	的に	航空運送状お	よび	「危険物申告	書の正	食物規則書の正 しい作成、的確 進める。最終的1	な梱	包、マーキン	
授業形式	講	義: ()	演	習: △	実	習:	実	支 :	*	€ 主たる方法:()	その他:△	
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他					目標					
		0			危険物規則	書に	基づく正確な	適用	と適正な取り	扱いが	できる			
学習目標 (到達目標)		0	igspace				険物申告書へ			できる				
(判建日保/		0	-	 			されているかの			£8+~1 \ .	かどうかのチェッ	. —		
		0	\vdash	\vdash							いとうかのテェッ		<u></u> ク	
テキスト・教材											·			
参考図書	D	angerous	s Go	ods l	Regulations E	ditic	on 61, ICAO-I	危険物規則	則の抜粋・解説、Course Guide Edition 2020					
	回数				授業工	頁目	•内容			授業外学	修扫	旨示		
	1	IATAディ	ィプロ	コマ危	。 資物コース	D概	要説明とシラバ	バス(の案内		斗の整理と必要備品 等)の準備	(マ-	ーカー、付箋、イン	,
	2	認証問題 説明	題の	出題	形式の説明、	甲台	5書の様式と危	物ラベルの	配布資料	4の整理、出題問題	の確	認		
	3		現則	書の	見方と目次の)説明	明(図、表の一	覧)		目次から 習の実施	る各章の図、表のペ- 施	ージ7	がすぐ探せるか <i>の</i>)練
	4	危険物規	現則	書の	各章(1章~3	章)。	と付録A,Bの内	容認	兑明	各章に何	- 可が規定されている? €行わせる	かの	内容確認と付録の	り内
	5	危険物規	現則	書の	各章(4章~6	章)(の内容説明				が規定されているが	かの	内容確認を行わせ	せる
	6	危険物類 明	現則:	書の	各章(7章~1	0章.)と付録C,D,E,	F,G.I	Hの内容説		可が規定されているが そ行わせる	かの	内容確認と付録の	の内
	7		危険	物の	定義の説明と	上同i	章のYes or No	の限	 問題で演習		夏での間違い箇所の	復習	を行わせる	
	8	第2章 :	危険	物の	制限の説明と	上同i	章のYes or No	。 の B	問題で演習	演習問題	通での間違い箇所の	復習	を行わせる	
	9	第3章 :	危険	物の	分類の説明と	上同i	章のYes or No	。 の B	問題で演習	演習問題	通での間違い箇所の	復習	を行わせる	
	10	第1章、	2章、	3章	の復習と理解	度す	- -ストの実施				Fストでの間違い箇所 は宿題を行わせる	斤の1	复習を行わせる。	80
	11	第4章	危険	物の	識別の説明と	上同i	章のYes of No	の問	問題で演習		題での間違い箇所の	復習	を行わせる	
	12	第4章	危険	物の	識別の復習と	上理が	解度テストの乳	実施			Fストでの間違い箇所 は宿題を行わせる	斤の1	复習を行わせる。	80
	13	第5章	危険	物の	包装の説明					-	-パックと同梱の違し			
	14	第5章 : スト	危険	物の	包装のYes o	r No	の問題(PI)で	演習	と理解度テ	演習問題	風での間違い箇所の	復習	を行わせる	
	15	第6章					or No の問題 [·]			理解度を	テストで80点未満は7	す題 を	を行わせる	
	16	第6章 理解度	容器 テスト	の規 ト	格及び性能語	式験	の説明とYes	or N	oの問題で		まと間違い箇所の訂 業で提出させる。	正、	复習を実施させ、	次
	17	第7章	マー	キン			説明とYes or N		同章のY	es or Noの演習問題				
	18	第7章 テストの	マー・	キング	グとラベリンク	が の行	复習とYes or I	Noの	問題理解度	理解度を	テストの80点未満は	官題	を行わせる	
	19				 格)、第7章(マー	-キング、ラベ!	ノンク	ブ)の総復習		6章、第7章の演習問 されているかの復習			かど
	20	第8章 説明と演	書類	初作	₹成(危険物申	1告	書と航空運送	状へ	の記載)の	こに配型されているかり接首をさせる				
	21			いの	説明と演習の)実	 拖			次回の理解度テストのための演習問題の復習を行わせる				
	22	第8章(宝施	書類	の作	成)、第9章(取扱	とい)の復習と	理解	度テストの	の 理解度テスト80点未満は宿題を行わせる				
	23	第10章	放身	打性物質 で	勿質の説明と 寸齢洋ユロ	演習 夕)	(放射性物質	、単位、輸	輸 危険物規則書のどこに記載されているかの復習を行わせる				行	
	24	第10章	表	存在特 商田	<u>物質の説明と</u> 除外輸送物	演官)	(輸送物のタ	イフ.	、許容値一A	わせる 一A 危険物規則書のどこに記載されているかの復習を行わせる				
	25	第10章 1	が 放射 いっか	育程 す	が質の説明と	演習	(輸送指数、	₹—:	キング、およ	へ 厄峡物規則書のとこに記載されているかの復省を行わせる - 危険物規則書のどこに記載されているかの復習を行わせる				行

1-2 416 - 1	第10章 放射性物質の説 大への記載)の説明と演		告書類の作別	7、 航空連送	危険物規則書の わせる	どこに記載され	ているかの復習を行				
授業計画	27 第10章 放射性物質の復		ことる演習		練習問題の復習		いどこに記載されて				
	28 第10章 放射性物質のYe			理解度テス	いるかの内容確理解度テストの8		を行わせる				
	 29 付録A,B,C,Dの説明				危険物規則書の	どこに記載され	ているかの復習を行				
					わせる 理解度テスト80g	まま満は宿題を	行わせる				
	30 付録の復習と理解度テス ad 認証問題対策 Question		如 <i>在</i> 1255万0	7003年2214							
	³¹ の間違い、 洩れの指摘				施		ているかの確認の実				
	32 認証問題対策 Question 間違い、洩れの指摘				させる		答できるかの復習を				
	33 認証問題対策 Question 間違い、洩れの指摘	1 Part C 一般	危険物の包装	長容器上の	させる		答できるかの復習を				
	34 認証問題対策 Question	11全体の復	習		各パートの解答できるかの行		のどこを参照すれば				
	35 認証問題対策 Question	11 理解度テス	ストの実施		各自で間違い箇	所のチェックと復	图				
	36 認証問題対策 Question バーパック) の航空運送物				危険物規則書の させる	どこを見れば解	答できるかの復習を				
	。 認証問題対策 Question	2 Part B 一般	投危険物の単	告書上の間	危険物規則書の	どこを見れば解	答できるかの復習を				
	37 違い、洩れの指摘 認証問題対策 Question	2 Part C 一般	设危険物の包	装容器上の		どこを見れば解	答できるかの復習を				
	39 認証問題対策 Question	2 全体の復図	<u> </u>		させる 各パートの解答を	E 危険物規則書	のどこを参照すれば				
					解答できるかの行 各自で間違い個		· 9 뀜				
	40 認証問題対策 Question										
	41 認証問題対策 Question Question		⊞to ONTE	同梱とオーバーパックの違いを覚えさせる 危険物規則書のどこを見れば解答できるかの復習を							
	42 協証问题对象 Question	3 Fart A, Far	、戌れの折	させる							
	43 認証問題対策 Question	3 Part Cの間	違い、洩れの)指摘	危険物規則書のどこを見れば解答できるかの復習を させる						
	44 認証試験対策 Question	3(放射性物	質)全体の復	習	各パートの解答を危険物規則書のどこを参照すれば 解答できるかの復習をさせる						
	45 認証問題対策 Question	3(放射性物質	質)の演習		認証問題に必ず出題されるポイントのマーキングと再 復習を実施させる						
	46 試験対策 Question 3 放	射性物質 Par	t A, B, Cの模	操テスト	解答できなかった個所の復習を行わせる						
	47 試験対策 Question 3 放 復習	射性物質 Par	t A, B, Cの核	擬テストの	各自の間違い個所を復習させる						
	48	2 一般危険物	Part A, B, C	の模擬テス	解答できなかった個所の復習を行わせる						
	試験対策 Question 1~2 智	!一般危険物	の上記3. 模扱	疑テストの復	各自の間違い個	所を復習させる					
	試験対策 Question 4~1	5 一般危険物	yes or No f	問題の模擬	解答できなかった	と個所の復習を	行わせる				
	試験対策 Question 4~1	5 一般危険物	の上記5. 模扱	疑テストの復	各自の間違い個	所を復習させる					
	最 52 □ ¬ I Question 16~	20放射性物質	頁 Yes or No	問題の模擬	解答できなかった	-個所の復習を	行わせる				
	エスト 試験対策 Question 16~2	20放射性物質	[上記7.模擬	テストの復	各自の間違い個	所を復習させる					
	33 習										
	理解度テストを各章の説明、演										
	る。成績評価基準は、S(90点	C (60点以上)	、D(59点以)	下)とする							
		言語情報	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合					
	定期試験		7-2000								
評価方法	理解度テスト		© ©								
屋板しの込む	山库泰珍坦奇运生以及。	 人 (よ 二 +== ^)	*** *********************************	7+	<u> </u>						
履修上の注意	出席率が規定に満たない場	易台は定期試	顿の受験資格	を与えない							

科目名	2	空港多	ミ 矜	§ II	A											
科目名(英)																
単位数		2単位	<u></u>		時間数		30時間		担当者		河野 氵	告一				
実施年度		2022年	度		実施時期		前期		担当者実務網		インのグループ	È業にて、グランド ≨				
対象学科・学年	I	アポート	-科2:	年												
授業概要	空	≌港地上	支援	業務	従事者として、	. 実際の	の業務に加	 全しいて	ご必要な知識	の定着を	図る					
授業形式	講	義: (C	演	習:	実習:		実担	支 :	* 3	上たる方法:○	その他:△				
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他	1				目標	i						
	0				航空用語を理	解し、	業界人とし	ての	会話ができる	るようになる	3					
学習目標	0				ULD・BULK機	材の搭	降載•特列	朱貨物	物の作業要領	質を理解し	、説明することだ	バできる。				
(到達目標)	0				GSE操作要領											
	0	0			各業務の作業											
	0	0 0			到着・出発での	の整備:	業務を埋態	解し、	説明すること	こができる						
テキスト・教材 参考図書	Γ	航空機のグランドハンドリング」 日本航空技術協会出版 パワーポイントなど各プリント資料 授業項目・内容 授業外学修指示														
	回数															
	1	授業項目・内容 授業外学修指示グランドハンドリングの概要 空港実務Iの振り返り														
	2	ULD•BL	「ランドハンドリングの概要 空港実務 I の振り返り LD・BULK機材の搭降載													
	3	ULD•BL	JLK模	幾材(の搭降載											
	4	ULD•BL	JLK模	幾材(の特殊貨物の	作業要	———— 領									
	5	ULD•BL	JLK模	幾材(カ特殊貨物の ^ん	作業要	 領									
	6	GSE操作	 乍要令	頁(コ	ンテナ・ドーリー	一・車間										
	7	手荷物耳	取扱し	ハに	ついて TAG	の種類	BHSع									
授業計画	8	理解度	テスト	とフ	オローアップ											
	9	旅客ハン	ンドリ	ング	車いすケア	'/スト	レッチャー									
					务(Lavotory S											
					hocks作業					教科書の該	 当範囲を事前に読/	 んでおく(0.5時間)				
					Chocks作業						当範囲を事前に読ん					
					ノグの基礎学	到着	 作業•情朝	B 押.排	曇∙進備							
					ノグの基礎学											
					オローアップ			.,								
						图(2)	授業の中	で理	解度テストを	·実施 (3)	定期試験の実	 施				
					割合で評価す							-				
評価方法	定期試験 © ○ 70%															
許ਘ力法		理解度	テス	ト (2	回)	0	0					20%				
	実技及び口頭質問 ○ ○ ○ 10%															
履修上の注意	出	は席が10	回に	満た	ない場合は、	定期試	験の受験	資格	を与えない。							

科目名	航空品質管理Ⅱ													
科目名(英)														
単位数		2肖	单位		時間数		30時間		担当者			河野 ;	浩一	
実施年度		2022	2年度		実施時期		前期		担当者実務網			·のグループ1 グ業務に従い	上業にて、グランド 「	
対象学科 - 学年	J	ェアポ-		2年										
授業概要		空港地		美業務	従事者として、	安全品	品質に関す	⁻ る意	意識を高めヒ.	ューマン	ノエラー	-防止に向け	危険予知能力の	
授業形式	講	義:	0	演	習:	実習:		実担	支:	>	・主た	る方法:〇	その他:△	
	言語情報		重動 態度 支能 意欲	その他			I		目標	Ę				
	0				安全管理·品質	質管理	を理解し、	安全	に関しての	重要性	を説明 [・]	することがて	きる	
学習目標	0				ヒューマンファ	クター	の考え方を	理	解し、ヒューマ	アンエラ	一の要	因を説明で	きる	
(到達目標)		0			作業での危険	個所(ハザードエ	リア)を予測する	ことが	できる			
		(0 0		指差呼称を使	った確	認ができる	5						
テキスト・教材 参考図書	Γ	「航空機のグランドハンドリング」 日本航空技術協会出版 パワーポイントなど各プリント資料 授業項目・内容 授業外学修指示												
	回数	2000 200												
	1	安全管理・品質管理とは 授業放当箇所の復習を行う(0.5時間)												
	2	ヒュー	マンフ	アクタ	ターへの取り組	lみ(Dir	ty Dozen)			授業該	当箇所の	復習を行う(0.6	6時間)	
	3	ヒュー	マンフ	アクタ	ターへの取り組		授業該	当箇所の	復習を行う(0.7	7時間)				
	4	ヒュー	マンフ		3時間)									
	5													
	5 Cユーマンファクダーとリソースマネーシェント												6時間)	
	7	コミュ	ニケー	ション	 ノスキルの活用	につい	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	会話)					
授業計画	8	エアオ	ポートリ	ノソー	 ·ス マネージメ:	ント(チ	ームビルラ	ディン	ノ グ)	授業該	当箇所の		5時間)	
	9		₹—F !	ノソー	ス マネージメ	ント(ス	レット&エ	ラ ー	マネージメ					
	10	<u>ント)</u> 空港	業務に	おけ	 るケーススタデ	・ 理角	 犀度テスト							
	11	空港	業務に	おけ	 るケーススタデ	<u></u> ว่า								
	12	空港区	内の安	全管										
	13	尊い命	命をお	預かり		航空機		~						
	14	職場の	の安全	活動	ヒヤリハット	メモ/	安全品質	情報	の作成					
	15	授業金	 全体の	振り	 返り 実技 打	旨 差 呼和								
					および口頭質問以下の観点・割			で理	解度テストを	実施	(3)宿	題・レポート	の提出 (4)定期	
						吾情報	知的技	能	運動技能	態度•	意欲	その他	評価割合	
評価方法	_		明試験			<u> </u>							60%	
	理	解度-				<u> </u>					$\overline{}$		20%	
	<u>~</u>	実技 選・レ	及び口				0				ر		10%	
	1Ē	ョ瓼 "レ	<i>'</i> \\−\	(1枚	/ 1凹)	0			©				10%	
履修上の注意	Н	出席が	10回に	満た	ない場合は、気	定期試	- 験の受験資	資格	を与えない。	<u>I</u>			l	

科目名	f	航空1	貨物	勿演	習											
科目名(英)		2単位 時間数 30時間 担当者 鈴木 毅剛														
単位数		2単1	立		時間数		30時間	担当者			鈴木 翁	设 剛				
実施年度		2022年	₹度		実施時期		前期	担当者実務	経験 3	空港運営	営会社におけ	る貨物取扱業務				
対象学科・学年	٦	ロアポー	ト科2	年												
授業概要	*	勿流にお	ける	航空	貨物の重要性を	理解し	し、航空貨物	勿業界の現場に	こ対応で	きる専門	門知識を習行	导する。				
授業形式	講	義:	0	演 [:]	習: 実	習:	5	実技:	*	主たる	る方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 運動 技能 技能		その他			l I	目標	#							
	0				現場業務に必要	を航	空専門用語	5の意味や内容	字を理解し	ン、説明	できる					
学習目標	0				貨物ハンドリング											
(到達目標)	0				航空輸送におけ	る安	全の意識や	重要性を理解	し、説明	ができ	る					
テキスト・教材 参考図書	Γ	「航空機のグランドハンドリング」日本航空技術協会出版、プリント資料 授業項目・内容 授業外学修指示														
	回数	2000000														
	1	授業項目・内容 授業外学修指示 航空貨物の概要について														
	2	航空機	航空貨物の概要について 航空機の種類及び専門用語について													
	3	3 航空機種類及び専門用語について ※小テスト予定(2レター、3レター)(0.5時間)														
		4 ユニットロードデバイス(ULD)の種類と機能について														
		ツルニフ オリ/宝光kのたけ) (a c吐眼)														
		5 連送状の役割について														
					いて(基礎補 <i>)</i> いて(航空会社約	= 1										
授業計画						冊 ノ			※小テス	トあり(航	.空危険物知識	(0.5時間)				
		航空郵														
		貨物上														
					ス、航空機搭載記	午容重	量について	<u> </u>								
	11	空港業	務作	業・多	安全について											
	12	物流に	おけ	る航空	空貨物輸送につい	ハて										
	13	内国貨	物と	外国(貨物について											
	14	海外に	おけ	る航空	空貨物上屋ハント	ドリング	グについて									
	15	物流お	よびタ	航空	貨物輸送の総合	確認に	こついて		※テスト	あり(最終	·確認)(0.5時間])				
	(1)持	受業内で	の小	テス	ト(4回分)											
		定期試験				15. 4.										
	以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。															
		(D (00)//	100.1	<i>,</i> <u> </u>	言語作	青報	知的技能	運動技能	態度•カ	意欲	その他	評価割合				
評価方法		定	期詞	大験			0		0			50%				
H I IMI / J /A		1.	トティ	ベト			0		0			50%				
履修上の注意	ļ	出席が10)回(:	満た	ない場合は定期	試験	の受験資格	を与えない。								

科目名	[国内均	也理	<u> </u>										
科目名(英)														
単位数		2単位	立		時間数		30時間		担当者		松藤	諭		
実施年度		2022年	度		実施時期		前期		担当者実務網	圣験 旅	行会社で、営	業として勤務		
対象学科 - 学年	٦	ロアポート	-科2	年										
授業概要	[国内の都	道府	·県の)場所、県庁所で	生地学	び、国内の	の世:	界遺産、観光	:地の説明が	できるようにす	する		
授業形式	講	美 :		演 [:]	習: 5	実習:		実技	 支:	※ 主 <i>t</i> :	とる方法:○	その他:△		
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他					目標					
	0				国内空港の31	/ター=	コードを答え	える	ことができる	o				
学習目標	0				各空港の所在	地と名	称が答え	るこ	とができる。					
(到達目標)	0	0			都道府県の場	所が答	えられる							
	0				都道府県の県	庁所在	地が答え	るこ	とができる					
	0	0			国内の世界遺	産の名	称と場所	を一	・致させること	:ができる				
テキスト・教材 参考図書	13	プリント対	応											
	回数	1月月1-12-1-1月日1七五フフリカ東の進歴。												
	1	投業概要・シラバスの説明												
	2	九州地	方								≿興味あるニュー	-ス・出来事の準備・3		
	3	沖縄•離	島(鹿児	島の離島を含む		1週間に起こった	≿興味あるニュー	-ス・出来事の準備・3					
		中国・匹						≿興味あるニュー	-ス・出来事の準備・3					
					目~4回目)		レターコード・2レター: 1週間に起こった		習(0.5時間) -ス・出来事の準備・3					
					日~4四日)					レターコート・2レター:		習(0.5時間) -ス・出来事の準備・3		
	6	関西地方									コードの予習、復			
授業計画	7	中部地方								レターコート・2レター:	コートの予習、復	習(0.5時間)		
227,741,12	8	甲信越地	地方							レターコート・2レター:	コートの予習、復			
	9	小テスト	2	(6回]目~8回目)					1週間に起こった		-ス·出来事の準備·3 習(0.5時間)		
	10	関東地方	方①							1週間に起こった レターコート・2レター:		-ス・出来事の準備・3 翌(0.5時間)		
	11	関東地方	方②							1週間に起こった	∠興味あるニュー	-ス・出来事の準備・3		
		東北地									∠興味あるニュー	-ス・出来事の準備・3		
		北海道地		<u> </u>							∠興味あるニュー	-ス・出来事の準備・3		
										レターコード・2レター: 1週間に起こった		習(0.5時間) -ス・出来事の準備・3		
		北海道地								レターコート・2レター:				
					回目~14回目				PM:	L-L-1		- 4 - 4 - 30 - 4		
					ト)を3回実施す 	る。(2)授業開發	始の	際、最近興味	末をもったニュ	.一ス、出来事	₿を 各目発表 。		
		を期試験				00 F 151	L) D/3	. ⊢ .	N F) 0/00	EN L) D/F	, F.N. T . 1. 	- 7		
	八 和	真評価基	準に	., S(90点以上)·A(8							T		
			#0=-	₽ 肝◆		情報	知的技情	甩	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合		
評価方法		確認テス	期試)	0			©		30%		
		性能アク 授業)	0			0		20%		
		1 技未	. Г . О.	九七	(J				<u> </u>		ZU%		
							<u> </u>				[
履修上の注意	E	出席が10	回に	満た	ない場合は、定	2期試馬	険の受験資	資格	を与えない。					

科目名	Ī	英語材	食分	Ē(1	OEIC)対	策	ĪΑ									
科目名(英)		TOEIC Test Strategies II A 4単位 時間数 60時間 担当者 和田 菜穂/野々村 賢一														
単位数					_		60時間		担当者			和田	菜穂/!	野々村	賢-	_
実施年度		2022年	- 度		実施時期	ı	 前期	\dashv	担当者実務網	経験						
対象学科・学年		ニアポート		在	J 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		13.777									
对象于14°于 牛		• • •			 :会の専門性と	1 7	口骨帯会託に	- レビョ	= にず 上川亩	門的 力	公职7	7. 涌田	する宣い	ال تم ال	の信却	
授業概要	削力	と力を念頭 コに見合っ	順に業 た力	終を をつ	その守りほとい 行うことが求め けることが重要 を目指し、問題	られてある	ている。限られ る。この授業で	た時 は、す	間の中で正確 き語運用能力	、かつ を測る	迅速に	対応	し、社会	で必要と	とされる	英語
授業形式	講	義: 4	Δ	演	習: 〇	実習	달:	実担	支:		※ 主	たる	方法:C) そ(の他: 4	Δ
	言語 情報	知的 運動 技能	態度意欲	その他					目標	Ę						
学習目標	0	0			社会性のある・自分の業務・新製品がど	に関	連する議論	の流れ	ィ、結論の理	由が	理解			説明を	理解で	きる。
(到達目標)	0	0	社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・ラジオのニュース番組で、最初にアナウンサーが言う主なニュース項目を理解できる。 ・自分の専門分野での発表やプレゼンテーションを聞いて理解できる。													
テキスト・教材 参考図書	Т	OEICテス														
	回数		授業項目·内容													
	1	導入テス	スト	解法	解説											
	2	TOEIC文	対策	語彙	、Part5、リス	ニン	グ						予習を行っ 予習を行っ			
	3	TOEIC文	対策	語彙	、Part5、リス	ニン	グ			単語	テストに	向けた	予習を行っ 予習を行 ^っ	うこと。ゃ	り直しる	を徹底
	4	TOEIC文	対策	語彙	、Part6、リス	ニン	グ						予習を行っ 予習を行っ			
	5	TOEIC文	対策	語彙	、Part7、リス	ニン	グ						予習を行っ 予習を行っ			
	6	TOEIC核	莫擬詞	試験	問題1 筆記								予習を行っ 予習を行 ^っ			
	7	TOEIC核	莫擬詞	試験	問題1 リスニ	ニンク	ブ 解答&解	説					予習を行っ 予習を行 ^っ			
	8	TOEIC核	莫擬語	試験	問題1 解説								予習を行っ 予習を行っ			
	9	TOEIC文	対策	語彙	、Part5、リス	ニン	グ			前回0	り復習ま	およびう	予習を行っ 予習を行っ	て授業	こ臨むこ	と。また
	10	TOEIC文	対策	語彙	、Part5、リス	ニン	グ						予習を行っ 予習を行っ			
	11	TOEIC文	対策	語彙	、Part6、リス	ニン	グ			前回0	り復習ま	およびう	予習を行っ 予習を行っ	て授業	こ臨むこ	と。また
	12	TOEIC対	対策	語彙	、Part7、リス	ニン	グ			前回の	り復習ま	およびう	予習を行っ 予習を行っ	て授業	こ臨むこ	と。また
	13	TOEIC核	莫擬語	試験	問題2 筆記					前回の	り復習ま	およびう	予習を行っ 予習を行っ	て授業	に臨むこ	こと。また
	14	TOEIC核	莫擬語	試験	問題2 リスニ	ニンク	ブ 解答&解	説		前回の	り復習ま	およびう	予習を行っ 予習を行っ	て授業	に臨むこ	こと。また
授業計画	15	TOEIC核	莫擬語	試験	問題2 解説								予習を行っ 予習を行っ			
	16	TOEIC文	対策	語彙	、Part5、リス	ニン	グ			前回の	つ復習ま	およびう	予習を行っ 予習を行っ	て授業	こ臨むこ	と。また
	17	TOEIC文	対策	語彙	、Part5、リス	ニン	グ			前回の	つ復習ま	およびう	予習を行っ 予習を行っ	て授業	こ臨むこ	と。また
	18	TOEIC文	対策	語彙	、Part6、リス	ニン	グ			前回0	つ復習ま	およびう	予習を行っ 予習を行っ	て授業	こ臨むこ	と。また
	19	TOEIC文	対策	語彙	、Part7、リス	ニン	グ			前回の	つ復習ま	およびう	予習を行っ 予習を行っ	て授業	こ臨むこ	と。また
	20	TOEIC核	莫擬語	試験	問題3 筆記					前回0	つ復習ま	およびう	予習を行っ 予習を行っ	て授業	こ臨むこ	と。また
	21	TOEIC核	莫擬語	試験	問題3 リスニ	ニング	ブ 解答&解	説		前回0	つ復習ま	およびう	・日 <u>です。</u> 予習を行っ 予習を行っ	て授業	こ臨むこ	と。また
	22	TOEIC核	莫擬語	試験	問題3 解説					前回0	つ復習ま	およびう	・日 <u>です。</u> 予習を行っ 予習を行っ	て授業	こ臨むこ	と。また
	23	TOEIC対	対策	語彙	、Part5、リス	ニン	グ			前回0	つ復習ま	およびう	<u>, 日で1,</u> 予習を行っ 予習を行	て授業	こ臨むこ	と。また
	24	TOEIC対	対策	語彙	、Part5、リス	ニン	グ			前回0	り復習ま	およびう	・日 <u>で17</u> 予習を行っ 予習を行	て授業	こ臨むこ	と。また

麻生外語観光&製菓専門学校 シラバス

	25 TOEIC対策 語彙、Part6.	、リスニング					授業に臨むこと。また と。やり直しを徹底					
	26 TOEIC対策 語彙、Part7、	、リスニング					授業に臨むこと。また と。やり直しを徹底					
	27 TOEIC模擬試験 問題4	筆記			前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと。また と。やり直しを徹底					
	28 TOEIC模擬試験 問題4	リスニング 角	解答&解説		前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと。またと。					
	29 TOEIC模擬試験 問題4	解説			前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと。またと。					
	30 定期試験対策 学期総括				前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと。またと。					
	(2)TOEICを学期末に実施する。 評価方法は730点取得で100%、650点取得で95%、600点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを複数回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
	以上を下記の観点・割合で評価する。	., .,	点以上)•C(60点	以上)・D(59点以	以下)とする。							
評価方法	以上を下記の観点・割合で評価する。	., .,	点以上)·C(60点 知的技能	以上)·D(59点以 運動技能	以下)とする。	その他	評価割合					
評価方法	以上を下記の観点・割合で評価する。	0点以上)•B(70)				その他	評価割合					
評価方法	以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80	0点以上)·B(70) 言語情報	知的技能			その他						
評価方法	以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80 定期試験	○点以上)・B(70) 言語情報 ◎	知的技能			その他	60%					

科目名	英語検定(準2級)対策 II A EIKEN Test/TOEIC Test Strategies II A													
科目名(英)	EII	KEN Test/	TOEI	C Test Strateg	ies	IΙΑ								
単位数		4		時間数		60	担当者		石志	正雄				
実施年度		2022年度		実施時期		前期	担当者実務	経験	外資系翻訳会	会社にて勤務				
対象学科·学年	工	アポート科	2年				1							
授業概要	要)授業で						えることや、英語で発作 技能検定準2級合格、					
授業形式	講義	ξ: Δ	演	習: 0	実習	当 : 実	技:		※ 主たる方法: O	その他:△				
		知的 運動 態技能 技能 意				'	目標	Ē						
	0	0		きる。(読む)					理解したり、概要や要り					
学習目標	0	0		社会性のある話(書く)	話題 (こついて自分の意	見を簡潔にまる	めて	、100文字程度の英文	を書くことができる。				
(到達目標)	0	0		事物に関する紹らえることができ			論などを聞いて	、情幸	限や考えなどを理解し	たり、概要や要点をと				
	0	タスられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)												
		英語檢定進2級過去問。TOFIC公式問題集												
テキスト・教材 参考図書	英	英語検定準2級過去問、TOEIC公式問題集 授業項目·内容 授業外学修指示												
	回数													
	1 7	数 授業項目・内容 授業外学修指示												
	2	英検対策 :	大問1,2	(語彙、短文の記	吾句	空所補充)、リスニ	ング	前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	3	英検対策	大問1,2	(語彙、短文の記	吾句	空所補充)、リスニ	ング	前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	4	英検対策	大問3(長文の語句空所	f補3	た)、リスニング		前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	5	英検対策	大問3(長文の語句空所	f補3	た)、リスニング		前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	6	英検対策 2	大問3(長文の語句空所	f補3	た)、リスニング		前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	7	英検対策 二	大問4(長文)、リスニン・	グ			前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	8	英検対策 二	大問4(長文)、リスニン・	グ			前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	9	英検対策 二	大問4(長文)、リスニン・	グ			前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	10	英検対策 二	大問5(ライティング)、リ	スニ	ング		前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	11	英検対策	大問5(ライティング)、リ	スニ	ング		前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	12	英検模擬試	験問	題1 筆記				前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	13	英検模擬試	験問	題1 リスニング	解	答&解説		前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	14	英検本試験	解説	大問1				前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
授業計画	15	英検本試験	解説	大問2				前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	16	英検本試験	解説	大問2				前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	17	英検本試験	解説	大問3				前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	18	英検本試験	解説	モデルライティン	グ級	習		前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	19	「OEICテスト	概要訓	说明 TOEIC Par	t5			前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	20	英検対策 :	大問1,2	(語彙、短文の記	吾句	空所補充)、リスニ	ング	前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	21	英検対策 2	大問1,2	(語彙、短文の語	吾句	空所補充)、リスニ	ング	前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	22	英検対策 2	大問3(長文の語句空所	f補3	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	23	英検対策 2	大問3(長文の語句空所	f補3	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				
	24	英検対策 二	大問4(長文)、リスニン:	グ			前回	の復習および予習を行っ	て授業に臨むこと				

麻生外語観光&製菓専門学校 シラバス

	25 英検対策 大問4(長文)、リ	スニング			前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと					
	26 英検対策 大問5(ライティン	グ)、リスニング	٢		前回の復習およ	び予習を行って						
	27 英検対策 大問5(ライティン	グ)、リスニング	þ		前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと					
	28 英検対策 大問5(ライティン	グ)、リスニング	٢		前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと					
	29 英検対策 大問5(ライティン	グ)、リスニング	۲		前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと					
	30 期末テスト前復習				前回の復習を行	って授業に臨む	تك					
	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(8	以上)・D(59点以	以下)とする。									
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合					
	定期試験	0	0				60%					
	小テスト ◎ O 40%											
履修上の注意	 出度が20回に満たない場合	さん 定期試験	命の受験資格	を与えない。								

科目名	英語検定(2級)対策 II A EIKEN Test/TOEIC Test Strategies II A														
科目名(英)	EIŁ	CEN Test	t/TC	DEIC	Test Strates	gies	IΙΑ								
単位数		4			時間数		60		担当者		石田 /	小雪			
実施年度		2022			実施時期		前期		担当者実務網	圣験	語学教育企 数か国のネイラ				
対象学科·学年	Τ.	アポート	科2年	<u>_</u> ≢											
授業概要	要		の授								えることや、英語で発信 支能検定2級合格、また				
授業形式	講義	ξ: Δ		演習	習: 〇	実	習:	実	支:		※ 主たる方法:〇	その他:△			
			態度 意欲	その他			<u>'</u>		目標						
	0	0			きる。(読む)						里解したり、概要や要点				
学習目標	0	0			社会性のある。 (書く)	話題	について自分の)意見	見を簡潔にまと	めて、	100文字程度の英文を	書くことができる。			
(到達目標)	0	0			事物に関する終める			討誦	などを聞いて	、情報	Rや考えなどを理解した	り、概要や要点をと			
	0	「与うこれた評算について明顯で評」たり、関き手も日めに広じて簡潔に評すことができる。また、道													
テキスト・教材 参考図書	英	英検過去問題集、TOEIC L&Rテスト 直前の技術、TOEICテスト新形式精選模試L&R 授業項目・内容 授業外学修指示													
	回数	授業項目•內容 授業外学修指示													
	1 7	授業項目・内容 授業外学修指示 オリエンテーション、英作文、音読、ディクテーション													
	2	英検リーテ	ディン	グ(5	豆文の語句空所	斤補 :	充)、リスニング			前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	3 3	英検リーテ	ディン	グ(5	豆文の語句空所	「補:	充)、リスニング			前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	4 3	英検リーテ	ディン	グ(引	長文の語句空所	行補:	充)、リスニング			前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	5 3	英検リーテ	ディン	グ(引	長文の内容一致)選	択)、リスニング			前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	6 3	英検リーテ	ディン	グ(引	長文の内容一致	女選:	択)、リスニング			前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	7 3	英検ライテ	・イング	グ、「	Jスニング					前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	8 4	英検模擬詞	試験	問題	題1 筆記					前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	9 4	英検模擬 詞	試験	問題	題1 リスニング	解	答&解説大問1			前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	10	英検模擬 詞	試験	問題	題1 解答&解詞	兑大	問1、2			前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	11 3	英検模擬語	試験	問題	題1 解答&解詞	兑大	問3			前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	12	英検模擬 詞	試験	問題	題1 モデルライ	ティ	ング練習			前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	13	OEICテス	い概	要訪	的 TOEIC Par	t2、	Part5			前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	14	英検本試験	験解	説	大問1					前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
授業計画	15	英検本試験	験解:	説	大問2					前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	16 英検本試験解説 大問3 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと											授業に臨むこと			
		iew class 语句空所			テーション、英格) (文	略法、英検リー・	ディン	ノグ(短文の	前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	18	英検リーテ	ディン	グ(5	豆文の語句空 所	「補:	充)、リスニング			前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	19	英検リーテ	ディン	グ(月	長文の語句空所	「補:	充)、リスニング			前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	20	英検リーラ	ディン	グ(]	長文の語句空所	「補:	充)、リスニング			前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	21	英検二次	対策	スヒ	ピーキング/英	検筆	記対策(過去問	問題)		前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	22	英検二次	対策	スヒ	ピーキング/英	検筆	記対策(過去問	問題)		前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	23	英検リーテ	ディン	グ(月	長文の内容一致	女選:	択)、リスニング			前回の	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	24	英検リーテ	ディン	グ(引	長文の内容一致)選	択)、リスニング			前回(の復習および予習を行って	授業に臨むこと			

麻生外語観光&製菓専門学校 シラバス

	25 英検リーディング(長文の内	容一致選択)、	リスニング		前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと					
	26 英検ライティング、リスニング	j			前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと					
	27 英検ライティング、リスニング	j			前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと					
	28 英検模擬試験 問題2 筆詞]			前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと					
	29 英検模擬試験 問題2 リス	ニング&解説			前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと					
	30 前期まとめ				前回の復習を行	って授業に臨む	حد					
	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(8	•	点以上) • C (60点	以上)・D(59点以	以下)とする。							
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合					
	定期試験	0	0				60%					
	小テスト ◎ ○ ○ 40%											
履修上の注意	出席が20回に満たない場合		ーーーー 剣の受験資格	<u></u> を与えない。								

科目名	اً ا	英会訓	括Α													
科目名(英)	E	nglish C	onve	rsati	on											
単位数		2			時間数	ζ	30)	担当者							
実施年度		202	2		実施時	期	前	胡	担当者実務	経験						
対象学科・学年	ב	ロアポー	卜科2	年					,							
授業概要	2	. Give st	uder	nts m	English prof ore confide d English sk	nce in		glish								
授業形式	講	義: 4	Δ	演	習: 0	実習	∄:	実	 技:	ж ±	たる方法: 〇	その他:△				
	言語 情報	By 技能 茂能 意欲 ^{での他}														
	0				Raise students' English proficiency											
学習目標	0	Give students more confidence in using English														
(到達目標)	0				Workplace	related	l English	skills								
テキスト・教材 参考図書	S	Speakout Elementary Book1														
	回数	_{回数} 授業項目·内容 授業外学修指示														
	1	Get to I	know	you	r teacher	none										
	2	1.1 Nice	e to i	neet	you		Preview lesso	on materials and re	eview previous lesson							
	3	1.2 Trav	∕el L	ight		Preview lesso	on materials and re	eview previous lesson								
	4	1.3 Can	I Ha	ve a	Coffee?	Preview lesso	on materials and re	eview previous lesson								
	5	Teache	r's L	seeoi	n or 1.4 Faw	Preview lesso	on materials and re	eview previous lesson								
	6	1.5 Loo	kbac	k /te	acher's less	Preview lesso	on materials and re	eview previous lesson								
1-2 410 - 1	7	2.1 Join	Us							Preview lesso	on materials and re	eview previous lesson				
授業計画	8	2.2 High	Fly	ers						Preview lesso	on materials and re	eview previous lesson				
	9	2.3 Wha	ıt Tir	ne Do	oes It Startí	?				Preview lesso	on materials and re	eview previous lesson				
	10	Teache	r's L	essor	n or 2.4 Cha	let Gir	l (needs	TV / D	VD)	Preview lesson materials and review previous lesson						
	11	2.5 Loo	kbac	k / T	eacher's les	sson				Preview lesson materials and review previous lesson						
	12	3.1 Just	t Go	od Fr	iends					Preview lesson materials and review previous lesson						
	13	3.2 Big	Happ	y Fa	milies					Preview less	on materials and re	eview previous lesson				
	14	Review	and	Prac	tice for Spe	aking ⁻	Test			Preview less	on materials and re	eview previous lesson				
	15	Speakin	ıg Te	st						Review previo	ous lesson materia	ıl				
	Students evaluation: (1) Test - 50% (2) Class participation - 25% (3) Attendance - 25 % The scoring scheme is: S (90 and above); A (80^89); B (70^79); C (60^69); D (59 and below)															
	-	E别試験	Sen	neste		語情		勺技能	運動技能	態度•意欲	ヤ その他	評価割合				
評価方法	,		Exar	n		0		0		0		50%				
		小テスト	ın-c	ass	I asks	0		0		0		50%				
履修上の注意	Students will not receive a grade if they miss more than 5 classes.															

科目名	(GCB II												
科目名(英)	G	ilobal	l Citi	zen	Basi	ic II								
単位数		1	単位	Ī		時間数		15時間		担当者		瀧口 月	惠子	
実施年度		202	22年	度		実施時期	玥	前期		担当者実務	経験			
対象学科・学年	ı	ニアホ	%− ト	科2:	年									
授業概要	すし	きえる ハそ	。夢 のビ:	を実 ジョン	現す	けるためには	「行動す ¥い、自	⁻ る力」が必 分以外の。	多要と	:なるが、その	ためには具体	体的に言語化	ち"志"について としてビジョンに £づくという事を学	
授業形式	講	義:	С)	演	習: △	実習:		実技	支:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語報	 園 知的 連載 態度 その他 目標 ○ 自らの考えを積極的に発表することができる 												
テキスト・教材 参考図書	5	グローバルシティズンベーシック II 志の教育(学生用テキスト)												
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示												
	1 グローバルシティズンと"志" 振返りレポートの作成(1時間)													
	2	自分	を取り	り巻く	〈環境	党を知る ~世	振返りレポートの)作成(1時間)						
	3	自己	を知る	る			振返りレポートの)作成(1時間)						
	4	伝え	る力を	を学ん	\$` I <i>'</i>	~プレゼンテー	振返りレポートの)作成(1時間)						
	5	伝え	る力を	を学ん	ડૉ I <i>•</i>	~グループコミ	振返りレポートの)作成(1時間)						
	6	先人	の志	に学	ぶ~	プロフェッショ	ナルとは	振返りレポートの)作成(1時間)					
授業計画	7	成功	者の	考え	方に	学ぶ~まとめり	にむけて	·~			振返りレポートの)作成(1時間)		
IXAN E	8	自ら	の志る	を言語	語化	する(知行合一	の考え	方に基づく)			振返りレポートの)作成(1時間)		
	9													
	10													
	11													
	12													
	13													
	14													
	15													
	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。													
			- 0				語情報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合	
評価方法		レオ	К− Ь	·作月	戊• 発	**************************************					©		100%	
履修上の注意	出	出席な	16回](こ清	あたな	い場合は、	不合格。	となる。					1	

科目名	-	一般都		ŧ II	Α									
科目名(英)														
単位数		2単位	立		時間数		30時間	担当	者		瀧口,	惠子		
実施年度		2022年	F度		実施時期	Ą	前期	担当者実	務経験					
対象学科・学年	٦	ロアポー	ト科2	:年				,						
授業概要					題に対応でる 景の採用試験					社会にお	ける一般常	識力とSPI問題の		
授業形式	講	義:	0	演	習:	実習:	5	美技:		※ 主た	-る方法: O	その他:△		
	言語 情報	情報 技能 技能 意歌 てい他 ロ1示												
	0				漢字検定2級	程度の	漢字の読書	ができる。						
学習目標	0	計算問題を中心に正確に解答することができる。												
(到達目標)	0	英検準2級程度の問題に解答することができる。												
	0	歴史に沿つて時代の流れを埋解し、歴史上の出来事について概要を説明することかできる。 る。 *********************************												
	0													
テキスト・教材 参考図書	7.	オリジナルテキスト												
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示												
	1	科目概	要・シ	ノラバ	ス説明、ニュ	テキス	テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)							
	2	第1回:	世界	史、	英語、SPI(玉·	手箱、分	テキス	ストの該当	部分の復習を行	う(0.5時間)				
	3	第1回:	数学	、第2	 2回:社会、SF	テキス	ストの該当語	部分の復習を行	う(0.5時間)					
	4	笙2回·	革語	数点	学、SPI:割引	テキス	ストの該当語	部分の復習を行	う(0.5時間)					
	5				[:割合、損益:	テキス	ストの該当語	部分の復習を行	う(0.5時間)					
				•		テキス	ストの該当語	部分の復習を行	·う(0.5時間)					
	6				语、SPI:損益:	テキ	ストの該当	部分の復習を行	う(0.5時間)					
授業計画	7				会、英語、SPI			部分の復習を行	. ()					
	8	第5回:	数学	、英語	语、社会 ————————————————————————————————————									
	9	第6回:	社会	、英語	语、SPI:集合		テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)							
	10	第7回:	社会	、英語	语、数学、SPI	テキス	テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)							
	11	第8回:	社会	、英語	语、数学、SPI	テキス	テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)							
	12	第9回:	英語	、数字	······· 学、社会、SPI	:四則演	算、割合		テキス	テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)				
	13	第10回	: 数学	 学、社	 :会、英語				テキス	テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)				
	14	第10回	: 英語	吾、SI	PI:売買分割、	推理、	順列・組み合	·わせ	テキス	ストの該当語	部分の復習を行	う(0.5時間)		
	15	まとめ:	前期	試験	範囲振り返り	と対策								
	以」	Lを、以□	下の都	睍点·	テスト (3)と 割合で評価で 下)とする。				以上)、	A (80点)	以上)、B (70	点以上)、C (60		
					言	語情報	知的技能	運動技能	能 態	度·意欲	その他	評価割合		
評価方法		定期記	試験	筆記	2)	0				0		80%		
H I IMI / J /A		小テス	• • •		回)	0				0		10%		
		出	席步	沈		0				0		10%		
履修上の注意	Ŀ	出席が10	回に	満た	ない場合は、	定期試	験の受験資	格を与えなし	١,					

										1 7 1 44 1-707	0 - 12(2)(1 1) 1	11/2/2/3/3/		
科目名		SPI :	Π											
科目名(英)	5	Syntheti	c P	ersc	nality Inv	entory II								
単位数		2単位	立		時間数	t	30時間		担当者	ř	龍口、松藤、台	☆力、 中山		
実施年度		2022年	F度		実施時	期	前期	担	 !当者実務#	圣験				
対象学科·学年		ーーー □アポーI	ト科2:	年										
授業概要												亙(数学)をメイン ごきる力を養う。		
授業形式	講	義: (0	演	習:	実習:	:	実技:		※ 主た	-る方法∶○	その他:△		
	言語 情報	各項目の解法を理解し、式をたてることができる。												
学習目標	0	制限時間内に解答することができる。 模擬試験問題を7割以上の正答率で解答することができる。												
(到達目標)	0				模擬試験問	ことができる。								
テキスト・教材 参考図書	Г	「1日30分7日間で完成 2024年度版 7日でできる! SPI必勝トレーニング」 高橋書店												
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示												
	1	授業概要・シラバス説明 、 SPI I 復習												
	2	模擬試	験問題	題:仁	上事算、速度	算、確率	テキストの該当	部分の復習(1時	間)					
	3	模擬試	験問題	題:N	進法、集合	、確率		部分の復習(1時						
	4	模擬試	験問題	題:邵	雀率、推論、	集合	テキストの該当	部分の復習(1時	間)					
	5	模擬試	験問題	題:返	速度算、順列	」、組み合	テキストの該当	部分の復習(1時	間)					
	6	模擬試	験問題	題:推	生論、順列、	組み合わ	せ、集合			テキストの該当	部分の復習(1時	間)		
₩ ₩ =1 m	7	模擬試	験問題	題:推	推論、仕事算	[、割合、N	l進法			テキストの該当	部分の復習(1時	間)		
授業計画	8	模擬試	験問題	題: 損	員益算、割合	ì、集合				テキストの該当	部分の復習(1時	間)		
	9	模擬試	験問題	題:返	速度算、損益	算、確率				テキストの該当	部分の復習(1時	間)		
	10	模擬試	験問題	題:2	:~9のまと&	か・確認テ	スト			テキストの該当	部分の復習(1時	間)		
	11	模擬試	験問題	題:ケ	分割払い、料	上金割引、	料金精算			テキストの該当部分の復習(1時間)				
	12	模擬試	験問題	題:返	速度算、資料	解釈				テキストの該当	部分の復習(1時	間)		
	13	模擬試	験問題	題: 第	長合、推論					テキストの該当	部分の復習(1時	間)		
	14	模擬試	験問題	題: 推	推論					テキストの該当	部分の復習(1時	間)		
	15	模擬試	験問題	題:2	~9、11~	14のまと	め			テキストの該当	部分の復習(1時	間)		
	以」	Lを、以↑	下の種	見点・	下)とする。 	する。成績				上)、A(80点)	以上)、B(70.	点以上)、C (60		
					-	語情報	知的技能	色 道	重動技能	態度•意欲	その他	評価割合		
評価方法		定期記				0	0			0		80%		
	_	確認テス	ト(筆 席状		2回)	0	0			0		10%		
		<u> </u>	1/市1人	نالد،								I U 70		
履修上の注意					'			•						

科目名	社	会教		ŧ II	Α									
科目名(英)														
単位数		2単(立		時間数		30時間		担当者		瀧口 氵	惠子		
実施年度		2022年	F度		実施時期	Я	前期		担当者実務	圣験				
対象学科・学年	エフ	゚゚゙゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	卜科2	:年										
授業概要		就職に向けての意識を高め、就職活動準備や就職試験対策(履歴書作成・エントリーシート作成・面接対策等)を行い、希望する業界・企業・職種への内定を目指す。												
授業形式	講義	講義: ○ 演習: ○ 実習: 実技: ※ 主たる方法:〇 その他:												
		情報 技能 技能 意欲 ^{での他} ロ1示												
	○ 履歴書・エントリーシートを作成し、企業情報等をノートにまとめ活用することができる。 ○ 面接で自分の考えをまとめ伝えることができる。													
学習目標														
(到達目標)														
				-										
_+-1 #++														
テキスト・教材 参考図書	プリ.	レト												
	回数	_{回数}												
	1 技													
	2 吊	或職試驗效策一求人要紹介 隨林里 FS作成 爭記試驗。而接												
	<u> </u>	2 対策 財職対験対策 - 求人 = 紹介 履歴書 FS作成 筆記試験・面接												
	3 対策													
	4 文	<u>策</u> 【職試】	験対	策一	求人票紹介、	履歴書	、ES作成、i	筆記	己試験・面接					
	5 文	策 振試	験対	策一	求人票紹介、	履歴書	、ES作成、i	筆記	己試験・面接					
	호	策			求人祟紹介、									
授業計画					求人祟紹介、									
	8 7	策	金寸	第一	求人祟紹介、	履歴 国	FS作成:	争引	可以 西埃					
	y \$	带			求人票紹介、									
	│ ¹U │⋨	策												
	│ │ │	策			求人票紹介、									
	│ ¹² │⋨	策			求人票紹介、									
	I3 _女	策			求人祟紹介、									
		抗職試! 対策	簸対	策一	求人票紹介、	履歴書	、ES作成、	筆記	□試験・面接					
	15 育	前期の	振り	返り										
	(2)拐 以上る	≧出物 Ē、下言	己の都	睍点·	点として評価 ·割合で評価 [・] F)とする。	する。成	績評価基準	は、	、S(90点以.	上)、A (80点)	以上)、B (70	点以上)、C (60		
						語情報	知的技能	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合		
評価方法		出	席划	況						0		80%		
計巡刀法		1	是出	物		0	0			0		20%		
								\prod						
								_						
履修上の注意	出月	東が10	回に	満た	ない場合は、	不合格	とする(D評	価)	0					

科目名	ビ	ジネ	ス	実	务 Ⅱ									
科目名(英)														
単位数		2単位	<u></u>		時間数	ζ	30時	間	担当	亅		榎本 美	和子	
実施年度	2	2022年	- 度		実施時期	期	前期	期	担当者実務	· 解経験				
対象学科·学年	エア	ポート	-科2	 年							l			
授業概要					ジネス能力: としてのスキ				吸)の取得を	目標に	こ、テキス	トを基本に講	義と過去問題演	
授業形式	講義:	(Э	演習	賢: △	実習	3 : 3 :	実	 技:		※ 主た	-る方法∶○	その他:△	
	言語 知的 運動 態度 老の他 目標 日標 日標 日標 日標 日標 日 日 日													
	○ ビジネス用語の意味を理解し説明することができる。 ○ ビジネスマナーを身に付け、実践することができる。													
学習目標			0											
(到達目標)	0											とができる。		
		社会人として積極的に人間関係を構築し、円滑なコミュニケーションを行うことがで												
テキスト・教材 参考図書	ГЬ													
	回数	回数 授業項目・内容 授業外学修指示												
	授業カイダンス・ビジネス能力検定概要・ビジネス用語・ケース ビジネス用語を覚える(0.5時間)													
			用語	吾•新	聞の読み方	ビジ	ネス用語を	覚える(0.5時間)						
	3 ビ	ジネス	オース	吾•統	計データの詞	ビジ	ネス用語を	覚える(0.5時間)						
	4 ビ	ジネス	スカラス オース・スティング オース・スティング アイス・スティング スティン アイス・スティング アイン アイン アイス・スティング アイン アイン アイン アイス・スティング アイン	吾・ビ:	ジネス文書・	ビジ	ネス用語を	覚える(0.5時間)						
	5 ビ	ジネス	用語	吾・コミ	ミュニケーシ	ビジ	ネス用語を	覚える(0.5時間)						
	6 ビ	ジネス	く用語	吾・コミ	ミュニケーシ	ビジ	ネス用語を	覚える(0.5時間)						
極業計画	7 週	去問題	題角	解答	① ビジネス	ス用語				ビジ	ネス用語を	覚える・誤答の記	J正(0.5時間)	
授業計画	8 過	去問	題角	解答	② ビジネス	ス用語				ビジ	ネス用語を	覚える・誤答の訂	丁正(0.5時間)	
	9 過	去問	題 角	解答	③ ビジネス	ス用語				ビジ	ネス用語を	覚える・誤答の訂	「正(0.5時間)	
	10 週	去問題	題角	解答	④ ビジネス	ス用語				ビジ	ビジネス用語を覚える・誤答の訂正(0.5時間)			
	11 週	去問	題角	解答	⑤ ビジネス	ス用語				ビジ	ビジネス用語を覚える・誤答の訂正(0.5時間)			
	12 本	試験	答え	た合れ	せ									
	13 冠	婚葬?	祭(口	ール	プレイング)									
	14 社	会人。	として	大切	な事									
	15 講	義の	総ま	とめ										
	以上を	、以T	「の勧	見点・	スト (2)定 割合から評 90点以上)、	価する	00	.В (70	点以上)、C	(60点	以上)、D	(59点以下)	とする.。	
						語情報	報 知的	的技能	運動技能	態	度・意欲	その他	評価割合	
評価方法	I	定期記) 建記/5	0		0					70%	
		八川市	<u>。</u> 。	VI. (=	F 06/ V	0		0					30%	
履修上の注意	出席	5が10	回に	満た	ない場合は	、定期	試験の受	験資格	各を与えない	0				

科目名	l #	-	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙ヿ゚゙゙゙゙゙゙	助										
科目名(英)														
単位数			2		時間	引数		30時間		担当者		玉置 万	理子	
実施年度		202	2年度		実施	時期		前期		担当者実務網	圣験	航空会社客	室乗務員	
対象学科•学年	I	アポ	一卜科2	2年					_					
授業概要	接自	遇の 分の)場面で)役割を	全て	の人が安	で 記述して著 記発的に	事らし	ていける!	ナー	ビスが必要	である。この技	受業では、自分	どあらゆる接客・ }のできることや ートが提供できる	
授業形式	講	轰:	Δ	演 ²	習: () 実	習:		実技	₺ :	※ 主 <i>t</i> :	-る方法∶○	その他:△	
	言語 情報	知的 技能	運動 態度 技能 意欲	その他		<u> </u>		l_		目標				
	0													
学習目標			0						-					
(到達目標)	○												を供できるように	
			0	-	なる。									
# !!		○ 聴覚障がい者の状態と環境を学び、相手に合った介助のしかたを工夫できるようになる。												
テキスト・教材 参考図書	な	に												
	回数	回数 授業項目・内容 授業外学修指示												
	1	本日の授業内穴を復習しておくこと												
	2	肢体	不自由	者 -	−肢体不	自由者と	:は				本日の授業内容	Fを復習しておくこ	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	
	3	肢体	不自由	者 -	−車椅子	介助の指	本日の授業内容	Fを復習しておくこ	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ					
	4	肢体	不自由	者 -	−車椅子	介助の指	本日の授業内容	Fを復習しておくこ	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ					
	5	肢体	不自由	者 -	-車椅子	介助の指	本日の授業内容	『を復習しておく』	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ					
	6	肢体	不自由	者 -	-車椅子	介助の乳	実技 試	験			本日の授業内容	を復習しておく	٤_	
Tat) 484 = 1	7	高齢	者介助) — }	高齢者体.	験					本日の授業内容	を復習しておく	٤	
授業計画	8	高齢	者介助) — Ā	高齢者の	現状					本日の授業内容	Fを復習しておくこ	٤	
	9	高齢	者介助) — i	高齢者の	心身の変	变化				本日の授業内容	Fを復習しておくこ	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	
	10	視覚	障がい	者 -	-視覚障:	がい者体	\$験(目隠し歩行	丁)		本日の授業内容	を復習しておく	ـ ا	
	11	視覚	障がい	者 -	-視覚障:	がい者介	 助演	習			本日の授業内容	を復習しておく	٤	
	12	視覚	障がい	者 -	-視覚障:	がい者の)現状	.			本日の授業内容	を復習しておく	٤	
	13	聴覚	障がい	者 -	-聴覚障:	がい者と	は					Fを復習しておくこ		
	14	聴覚	障がい	者 -	- 聴覚障:	がい者介	 助演	習			本日の授業内容	を復習しておく	٤	
	15	総ま	とめ・レ	ポー	ト課題									
	以上	を下	記の観	点:	割合で評価	西する。				'リントの提出 以上)・C(60	点以上) • D(5	9点以下)とす	-S	
						言語情	報	知的技能	É	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合	
評価方法			美中の3						\downarrow	0	0		50%	
		L	ノポート	·提出		0		0	+		0		50%	
									\dashv					
									+					
									+					
履修上の注意											I		I	